

銚子市富川町付近の水文地質構造

楠田 隆・風岡 修・加藤晶子・香村一夫・原 雄

1 地質

銚子市富川町は、銚子市の北西に位置し、東庄町・海上町に近い。調査地の直ぐ北側 250m には森戸の堰があり、JR 下総豊里駅から直線距離でおよそ 2km 南南東にある(図 1 調査地案内図・基盤岩上面等高線図)。

台地上から深度およそ 25m の 5 本のオールコアボーリング調査が行われた。地質は下位より次のとおり重なっている。

- (1) 暗緑灰色の固結シルト：2.6m 以上の厚さ。生物擾乱が発達している。
- (2) 茶黄緑灰色の固結シルト：下位層の風化帯にあたり、35cm～55cm の厚さ。生物擾乱が見られる。
- (3) 黄褐色の砂層：層厚は 13.8m～16.3m と厚い。本層の最下位に貝殻片層が 10cm～45cm の厚さで確認される。その上位には細砂層が、更に中粒砂～粗粒砂(標高としておよそ 28m 付近)が、更に上位には細砂が堆積し、標高として 36m 付近より上には、粗粒砂の薄層を多く挟むようになる。
- (4) 黄褐色砂混じり粘土・黄褐色粘土混じり粗砂：層厚は 0.9 から 1.5m。本層下位は粘土質砂、泥岩の円礫を含む、ラミナ構造などが見られる堆積物。
- (5) 茶褐色ローム層：層厚は 3.3m～4m。下位は黄褐色の砂混じりローム層となっているが上位層は砂粒はほとんど見られない。また粘性は低い。
- (6) 表土：層厚は 30cm 程度で草根が散在している。ここで区分した地層を、対比すると第 1 表のとおりとなる。

2 水文地質

香取層が帯水層に当たる。台地上の畑や養鶏場ではこの香取層中にストレーナーを設置した井戸により揚水している。また、台地・低地の境界では湧水を見ることが出来、横穴を掘り取水していることがある。

3 地質断面図

本地域の地質断面図は図 2 に南北断面、図 3 に北西・南東断面を示した。

4 参考文献

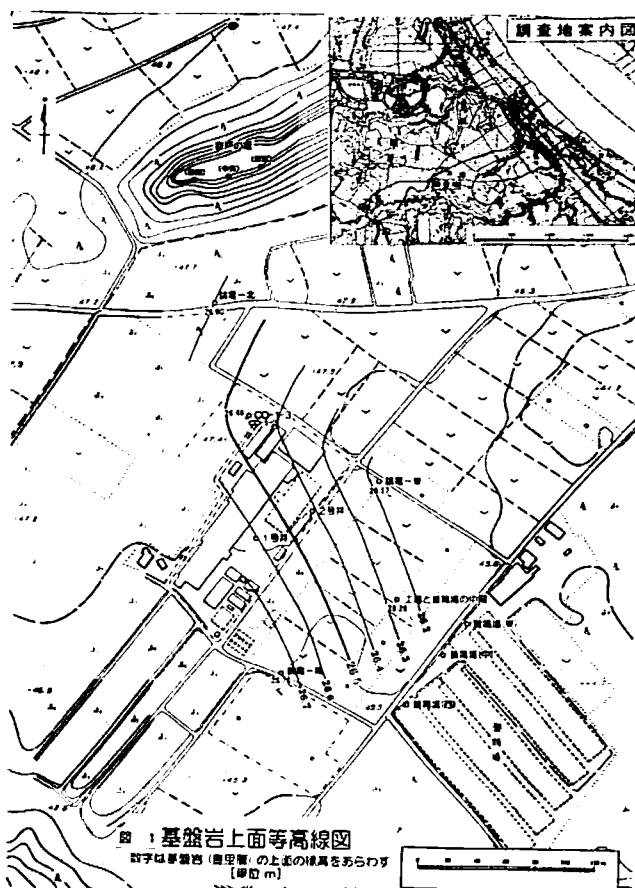
- (1) 銚子電子株式会社(1999)地下空気吸引による汚染除去対策業報告書、株式会社テクノアース

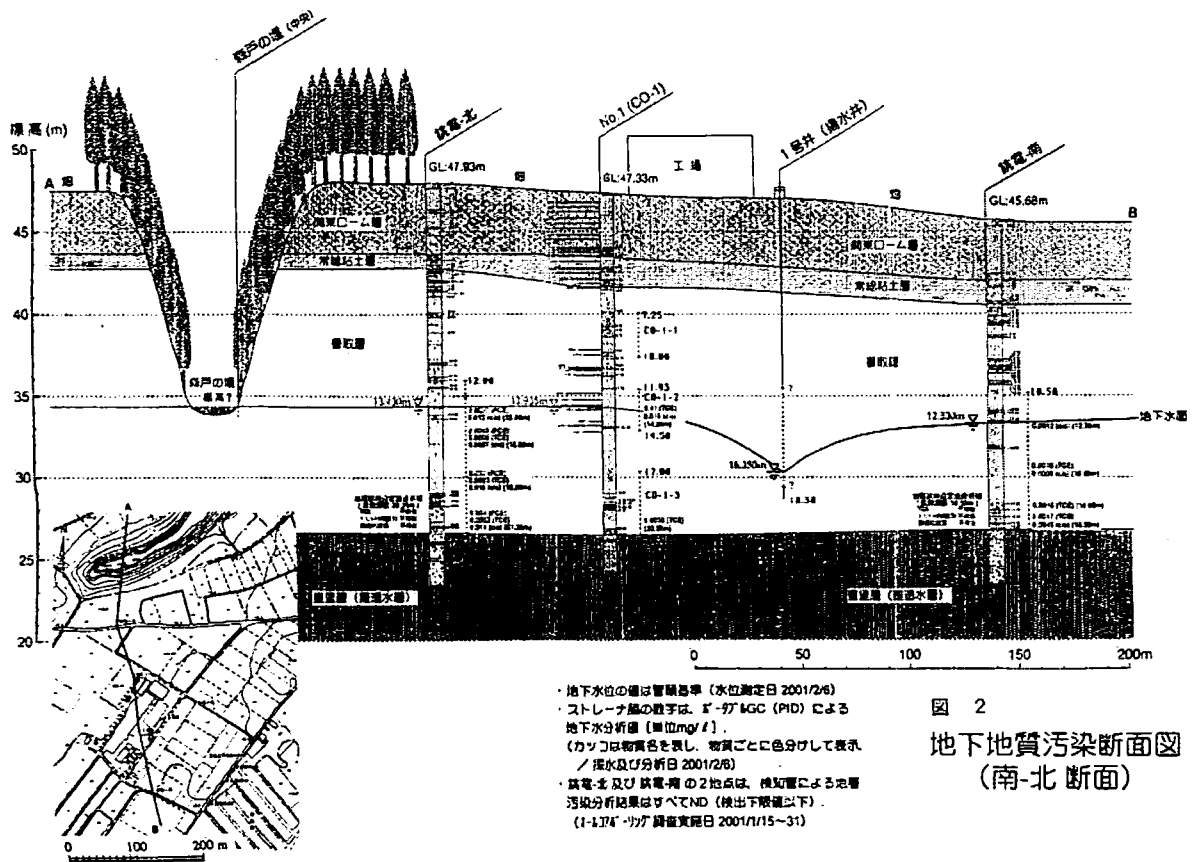
- (2) 銚子市(2001)地下水汚染機構解明調査報告書、株式会社テクノアース
- (3) 千葉サンケン株式会社(1985)千葉サンケン(株)銚子工場増設に伴う地質調査報告書、越川奏一建築事務所・昭和基礎開発株式会社
- (4) 経済企画庁総合開発局国土調査課(1970)土地分類基本調査、地形・表層地質・土壌「八日市場、5 万分の 1」
- (5) 近藤精造 1(1996)千葉県地の盤と地質環境、近代文芸社
- (6) 千葉県(1984)土地分類基本調査、「銚子、5 万分の 1」

第 1 表 層序対比

地層名	富川町
表土・土壌層	(6)
ローム層	(5)
常総層	(4)
香取層	(3)
豊里層	(1)・(2)

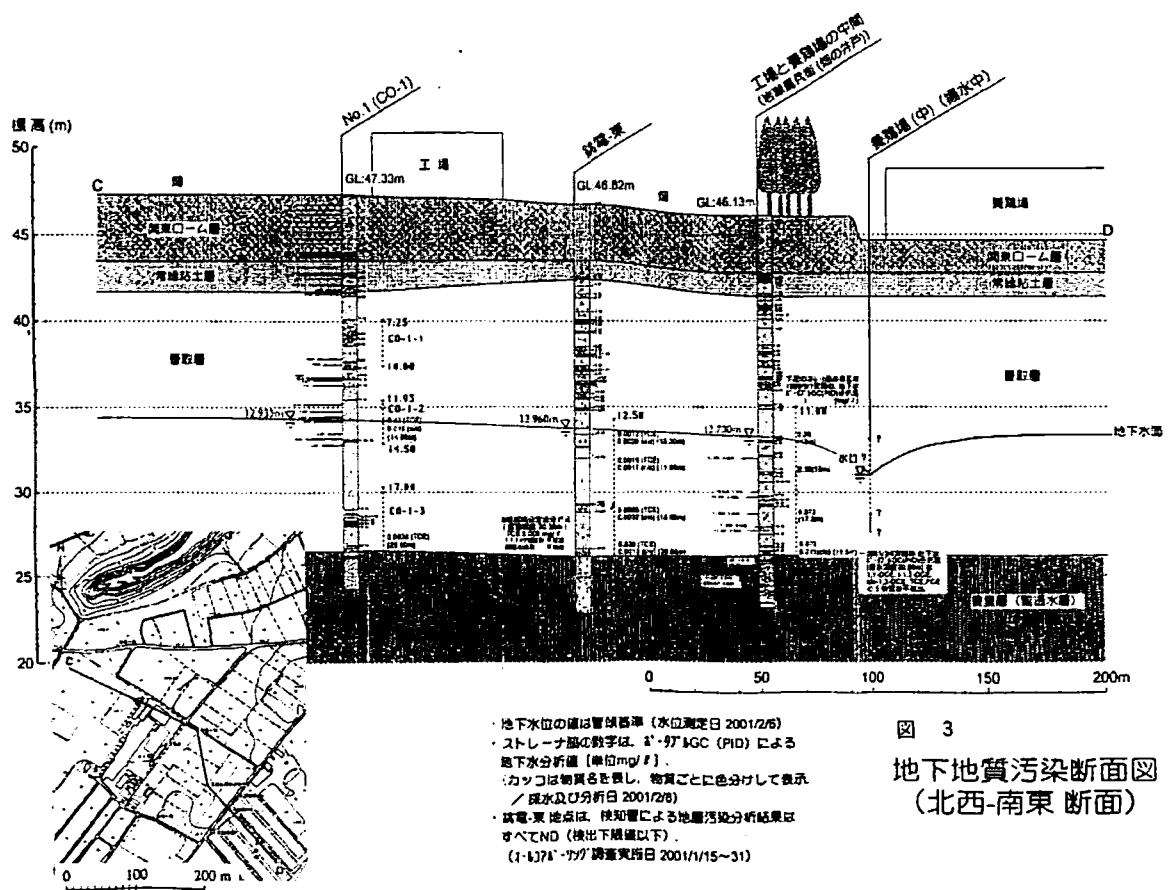
図 1 調査地案内図・基盤岩上面等高線図





・地下水位の値は官報基準（水位測定日 2001/2/6）
 ・ストレーナ層の数字は、B-97 MGC (PID) による
 地下水分析値【単位mg/l】
 (カッコは物質名を表し、物質ごとに色分けして表示
 / 採水及び分析日 2001/2/6)
 ・観音堂及び鉄砲塚の2地点は、検知管による地層
 汚染分析結果はすべてND（検出下限値以下）
 (1-4374'-カッコ調査実施日 2001/1/15~31)

図 2
 地下地質汚染断面図
 (南-北断面)



・地下水位の値は官報基準（水位測定日 2001/2/6）
 ・ストレーナ層の数字は、A'-97 MGC (PID) による
 地下水分析値【単位mg/l】
 (カッコは物質名を表し、物質ごとに色分けして表示
 / 採水及び分析日 2001/2/6)
 ・鉄砲塚地点は、検知管による地層汚染分析結果は
 すべてND（検出下限値以下）
 (1-4374'-カッコ調査実施日 2001/1/15~31)

図 3
 地下地質汚染断面図
 (北西-南東断面)